倉沢里山を愛する会 会報

ENJOY アリスの丘 風の丘 Farm NEWS LETTER

倉沢里山を愛する会会報
NEWS LETTER No.103
2022年秋号(10月1日発行)

発行責任者 田村はる子
編　　集
〒191-0033
日野市百草698-6(田村)
TEL/FAX 042-592-5859
mail: info@alice-fm.info
URL:http://alice-fm.info

明治神宮から里山へ

渋谷区立千駄谷小学校六年
藤島さくら

今回は、私のどんぐり(樫の木)を植えてくださって本当にありがとうございました。

今回植えてくださったどんぐりは、私が小学三年生の十月頃、明治神宮の人からいただいた木です。その時はまだ二十センチメートルくらいの小さな木でした。それから二年と十か月で一メートル以上大きくなりました。ここまで大きくなれたのは、お父さんが欠かさず水やりをしてくれたり、お母さんがどんぐりに栄養をあげてくれたりしたからだと思います。夏になってどんぐりは、さらなるスピードで成長してきました。この成長するどんぐりを見ていると、とてもうれしくなります。ですが、うちはマンションなので、育てるにも限界があります。どんぐりにもこの狭いベランダはストレスだと思います。なので今回、おじいちゃんに相談し、里山に植えてもらうことにしました。里山に植えてもらえることは、とても喜ばしいことです。ですが、このどんぐりの成長を毎日、間近で見れないことは、少し、悲しかったです。

里山に行くと、たくさんの昆虫、そして、数え切れないほどのいろんな木がありました。私はすぐに、「このどんぐりの木は、この里山に適している。」と感じました。土に植え終わり、所々日の光を浴びているどんぐりは、まるで元々そこにあったどんぐりの木のように、里山になじみ、たくましく生きていました。

これからは、毎日様子が見れず、水やりや栄養をあげることもできません。ですが、あの木は一人ではありません。動物や植物がいます。一刻も早く里山になじみ、安心して生きていくことを願っています。

木は第一緑地で順調に育っていますよ。安心して下さい。

会員の安達さんのご家族

里山の植物誌(101)

ナンバンギセル（ハマウツボ科）

“道の辺の尾花が下の思草 今さらに など物か念はむ”は万葉集に詠まれている植物の思草＝ナンバンギセルです。

７７０年頃に成立した万葉集の思草がなぜ南蛮人の煙管と名前を変えたのだろうと調べ、考えてみました。1543年、種子島にポルトガル人来日。鉄砲が伝来したり，ザビエルが鹿児島でキリスト教を伝えたり、1582年にはスペイン人が平戸に来航し、いわゆる南方の蛮人に接するようになり、彼等を南蛮人と呼びました。タバコを吸っていたのと花を見比べて、思草はこうしてそれ以後のいつ頃かはわかりませんが、現在の正式な名前として定着したのではないでしょうか。

ススキ・栗・ミョウガ・サトウキビなどの根に寄生する1年草でハマウツボ科。茎はほとんど地上に出ずそこに5～10mmで赤褐色の葉を数枚付け(その部分は観察されないでしょう)、その脇から褐色で15～20cmの長い花柄を直立し，その先は萼片で先がとがり、そこから横向きになって大型の花をつける。花冠は長い筒型で先が浅く５裂。

日本全土に分布しますが，淡紫色の花を見ると「きれい、きれい」と騒がれる花です。思草（オモイグサ）とどちらの名前がお好きですか？峰岸立枝

沢山の花を付けてくれたパーソフ

ぽんぽこも一生懸命必死で生きてます

昨年発見されたクロムヨウラン

80歳からの生きがい

竹原京子

崖地のてっぺんで草刈り作業する竹原さん

6月まで，特養「あすなろ」にパートで勤めておりました。80歳、気力、体力は、まだ充分あります。20年近く勤めましたが「もう少し自分の納得いく生き方があるんじゃないか・・」と迷っている頃、会員の田中さんから「倉沢里山を愛する会」を紹介されました。

自然も花も大好き、仲間（大先輩の方々）と一緒にする活動も楽しいし、こんな私にはぴったりで、願ったり叶ったりと、迷うことなく7月から仲間に加えて頂きました。

きれいに整備され、気持ちよく広がる緑地に保護植物のための杭と赤いテープが目に止まります。今まで知らなかった花々に出会い、季節の移ろいとともに咲いてゆく花々が待ち遠しく楽しみです。

北緑地の竹林を案内して頂いた時、目の前に現れた竹に感動しました。根元に竹の子の皮を2枚まとい、天を衝く勢いで、すっくと立っていました。太くて深みのある緑色に鋭い光沢、竹ってこんなにも美しい物なのだと改めて気づかされました。こんなに身近なところに貴重な自然が存在していることに驚きました。

これらを次の世代に繋いでいく大きな目的のための活動の一員に加えて頂き、何かしら誇らしい気持ちになります。

もっと早くにご縁が持てなかったことが、残念でなりませんが、これから先、少しでも永く会員で居られますよう、健康に注意して頑張って参ります。どうぞよろしくお願い致します。

北緑地東で発見されたイチヤクソウ

里山の可憐な草花たちに出会うまで

藤田宏子

初めは、まだ幼かった子供たちと散歩に行き、一緒に草花の名前を、一つ一つ覚えていきました。

その後、犬を飼うようになり、犬友達と散歩するたびに、草花の名前をたくさん教えてもらいました。

そして数年前からは、八王子にある木馬工房（特定非営利活動法人）に、働きにいくようになり、そこでたくさんのハーブたちと、出会いました。

ラベンダーのお世話から始まり、月桃、レモングラス、エキナセア、ローズマリー、ジャコウソウ、ホップ、藍、ローズヒップ、ワイルドストロベリー、ホワイトセージ、カモミール

保護活動の藤田さん

蒸留したり、ドライフラワーにしたり、染めたり、もちろんハーブティーとして飲んだり、時には、うまく育たなくなったりもして悩んだり、そして、犬友達である野村さんに、誘ってもらって、里山の会に、参加する様になりました、

今、植物との出会いの楽しさを、あらためて強く感じています。

最近は、雑草が、しげっているのを見ると自然と”宝石”を探してしまいます。

毎年毎年、里山に咲く可憐な花たちは私にとって宝石のようです。

その宝石のような植物を守るためには、里山を、守らなければならないということも、知りました。なかなか活動に行けないのですが、出来るだけ参加しようと思います。こんないい出会いを、本当にありがとうございます。

今年も咲いてくれたキツネノカミソリ

アオジ

写真と文　杉本 研士

たっぷり頬髭

冬。たとえば公園に植えられたサツキの下で、カサリコソリという音がします。気をそそられて覗きこむと、スズメほどの大きさの小鳥が、動きを止めてこちらを見上げていることがあります。シャイな小鳥です。といって、ヒトを見るなり間髪を入れずに逃げるというのでもなく、よく言われるように「たいそう警戒心が強い小鳥だ」とは私としては思いません。

背中から見るとスズメに似ており、顔や首はスズメよりもさらに地味であるためか、最初の印象は暗っぽいものです。地味ではありますが、よく眺めると、オリーブドラブの濃淡の様子に微妙な個体差があり、なかなかに見応えがあります。

「ホオジロ」の親類で、昔はホオジロのことを「シトト」と呼んだことから「アオシトト」、これが発音しやすく「アオジトト」に、江戸時代に至って「アオジ」短く詰められたのだそうです。

いにしえから、アオジはホオジロの仲間だということを知っていたのですね。どうも昔の人にはかなわないところがあります。

親子連れと思われる３羽を見てください。奥の黒っぽいのがお父さん、その前のいくらか明るいのがお母さん。いちばん右は全体に華奢で幼げではありませんか。そろって、たっぷりした頬髭を蓄えているように見えるのがご愛敬です。

夏号でお知らせしたミツバチの巣箱ですが、蟻の巣が出来てしまい、ミツバチはいつの間にか逃げ出してしまいました。中を開けると途中まで蜂蜜を集めていた様子がわかりました。今回は残念な結果に終わりましたが、来年またここに帰ってくることを願っています。事務局

新天地百草の里でタヌキと共に

安冨芳機

初めまして。8月に入会させて頂きました安冨芳機と申します。令和３年３月に小平市から京王百草園の近くに転居して来ました。年齢は前東京オリンピックと同級生ですが人生100年の時代まだまだ若輩者です。積極的に動きますのでご指導の程お願い致します。

前居住の住宅が廃止される事に伴い右往左往しましたが何とか現住所に落ち着きました。東京に残る数少ない山の中の自然に感動した事、市民農園を経験し自宅で家庭菜園をやる事が夢でしたので狭いながらも庭があった事が決断の理由となりました。しかし出身が山口県(旧長州藩)ですのでまさか新選組のお膝元に落ち着くとは思いませんでした。

昨年は石と闘いながら自宅庭を耕して土の改良を重ねナス、きゅうり、玉ネギ等が豊作でした。しかし、庭の前が休耕地でしたので近い内に住宅等が建つのでは？と気掛かりでした。そんな時、会の活動の一環として自宅前が菜園となる計画がある旨を直江さんから伺いました。もちろん二つ返事で賛同し入会を決めさせて頂いた次第です。夢の様な出来事です。

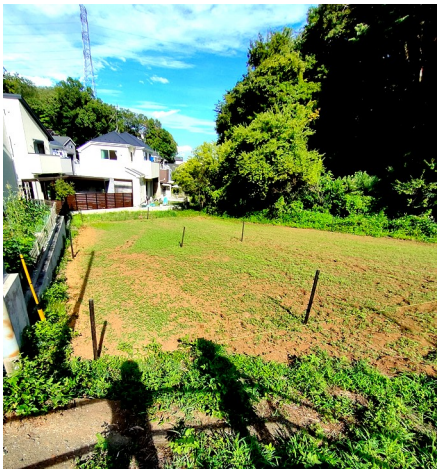
機械刈りも上手な安冨さん

更に倉沢の里山の竹林、雑木林を見学させて頂き維持すべき土地だと思いました。

東京では簡単に田畑山林が造成されて建物が建つ光景を目の当りにして来ましたので、これまでの「倉沢里山を愛する会」のご尽力に敬服し私も微力ながら協力させて頂ければと思いました。この感動に任せて猛暑の中「カウの谷ファーム」を一心不乱に耕しました。流れる汗を拭いながら奈良時代の「墾田永年私財法」を思い出し「現代に復活しないかなぁ」と嬉しさと暑さで大きな勘違いの妄想をしてしまいました(笑い).たまに夜の庭先にタヌキが顔を出してくれます(感動).秋には先住の動物たちにお裾分け出来るように頑張ります。

野生動物も生きていかなければならず、畑の野菜をつまんでみたくなりますよね。心優しい安冨さんの、分け与える精神に感動いたしました。事務局

百草八幡神社前、カウの谷ファーム開始



田村はる子

今年の8月から大木さんの畑をお借り出来ることになり、会員6名程で耕作することになりました。大木さんがトラクターで耕して下さりふかふかの土地、大木牧場の牛糞も使い放題で、有機栽培をする者にとっては、何と贅沢な畑でしょう。何より八幡神社前なので、ご利益がありそうな気がします。少し傾斜があるので、下の畑は水の道を作れば雨水は横の堀に流れていきます。その堀では、毎年ホタルが飛んで、初夏ともなれば、夜ごと幻想的な風景が下の方まで繰り広げられます。ここは東京とは思えないような一画です。

虫食いのように宅地開発された狭間に、地主さんが大切に使用し残してくれた畑や自然が、百草にはまだあります。大木さんがいつも牛の餌のトウモロコシ系（イネ科の植物）を栽培していた土地です。ウォーキングの途中で、背の高いのびのび育った植物がザワワー、ザワワーと気持ちよさそうに風に揺れていたのを見ながらのお散歩は最高の風景で、ウォーキングのテンションも上がりました。

理由はともあれ、この畑はもう作らないと聞いた時に、思わず「会でお借り出来ますか？」と大木さんに訊いたのが始まりです。残念なことに、今の自分は色々な理由で動きが取れず、耕したくても出来ません。とりあえず耕作できそうな若い方に声を掛けて、お試しで耕して頂くことになりました。秋・冬野菜の栽培から始まります。

こちらの畑の方が近いという方や、来年の春から耕作したいという方、この畑に興味を持った方は、空き待ちですが、事務局までどうぞお問合せ下さい。

ご好意でお借り出来たファームですから、大木さんに失礼のないように大切に耕しましょう。ファーム周辺の草刈りとファーム内を草だらけにしないで管理ができる方、バイクか自転車、徒歩で通える方を募集中！会では、このような休耕地を会員が耕すことにより、宅地開発に繋がらないよう、少しでも自然が残ればいいとの考えでファーム企画をしています。ご利益多そうな神社前のカウの谷ファームの船出に、幸あれ！

7～9月の主な活動記録

7日6日(水)熱中症対策講座　講師　東京消防庁柿沼様（28名）今年は暑い日が多く実施に感謝！
7月7日(木)植物保護,万蔵院台ヤマユリ保護(15名)
7月9日(土)活動報告、万蔵院台緑地機械刈り、手刈り・そださく手刈り（40名参加）
7月18日(月)植物保護・カザグルマ、バーソブ、ヤマユリの手入れ（17名）
7月20日(木)長久保・タラの丘・民家横の機械刈りタラの丘・カザグルマ、バーソブ手刈り（27名）
8月6日(土)植物保護　栗林２か所（15名）
8月11日(木)万蔵院台・長久保栗林機械刈(36名)
8月31日(水)植物保護　万蔵院台赤道・そださく・バーソブの手入れ（17名）
9月3日(土)栗林・赤道・民家空地・カウの谷・第一の境界溝機械刈り、粗朶柵・カザグルマの手刈り（46名）
9月15日(木)植物保護　長久保外来種除去・クズ取り、ひなた緑地外来種除去・クズ取り（17名）
9月17日(土)9/18の予定を台風の影響で一日前倒しで実施。万蔵院台栗林機械刈り、(有志7名)
8/20～10/10頃まで、毎日8時より栗イガ作業実施中

10月～12月の主な活動予定

各回の持物：バンダナ、手袋、スタンプ帳、飲料水

各回とも１０：００　炭焼小屋広場集合　雨天時翌日（内容を変更する事や番外編あり。各回おやつあり
10月9日(日)万蔵院台刈払い機・北緑地東の手刈り他
11月5日(土)　長久保機械刈り・第2緑地手刈り
11月23日（水･祝）北緑地機械刈り、ひなた緑地落ち枝片づけ他
12月10日（土）ひなた緑地機械刈り、長久保落ち葉掃き
毎回の作業の数日前に植物保護作業、９時第２緑地集合。

☆☆☆☆☆　事 務 局 か ら　☆☆☆☆☆

☆今号は、里山の木、草花、動物など会員の皆さまの優しさ溢れる文が多く、編集の際、感動して、心に沁みました。やさしさに触れる号です。
☆アリスの丘の水道水の件、いつも節水を心がけて下さっているお陰で費用が抑えられています。なるべく雨水をためて、利用しましょう。
☆ファームや緑地の草刈りで、刈り払い機を使用する方は、ファーム係、その他の役員に断り、ご使用ください。返却時に、機械に不都合のある時、修理が必要な時は、その都度、役員に報告をお願いします。会では本番の活動日に使用できるように常に気を配っています。
☆里山内の貴重な植物が、今年も元気よく見事に咲いてくれました。これも日頃の保護活動に参加して下さる皆様のお陰で、増々魅力的な里山になっています。7～8月に咲いた花は、ヤマユリ、バーソブ、キツネノカミソリ、昨年北緑地の竹林で発見されたクロムヨウラン、今年,北緑地東で発見したイチヤクソウ、万蔵院台崖地道路脇のナンバンギセルなど、まだまだ新発見の植物がありそうで、楽しみですね。